

## 実績



岐阜県内「文化ホール」  
改修: 天井高さ 12.5m、天井面積555㎡



愛知県内「市民病院」(協会員施工)  
改修: 天井高さ 6.55m、天井面積265㎡



群馬県内「町役場」  
新築: 天井高さ 7.5m、天井面積 220㎡

## 取得情報

### 特許

第3258155号 吊り天井構造とその金具

### 技術評定

第BVJ-PA16-001号 「耐震天井に関する水平震度2.2G対応」  
2016年10月13日ビューロベリタスジャパン(株)による  
建築技術性能証明を取得

## 耐震天井普及協会

当社が加入する一般社団法人耐震天井普及協会は天井耐震化システムを研究開発し、地震に強い天井を市場に普及することで  
安心安全な生活の確保に努めています  
HP: <https://taishin-tenjyo.com/>

## よくあるご質問

AA-TEC工法についての  
よくあるご質問はこちら



本社 〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町1  
HP: <https://www.aaconst.co.jp>  
窓口 営業第二本部 営業企画部  
TEL: 03-5419-1020 FAX: 03-5419-1018  
Mail: [tech-info@aaconst.co.jp](mailto:tech-info@aaconst.co.jp)  
技術研究所 〒300-2622 茨城県つくば市要36-1

仕様は予告なく変更されることがあります。カタログは2021年8月1日現在のものです。  
本カタログに記載された特性値等の技術情報は、規格値を除き保証するものではありません。  
本カタログに記載された製品は使用条件等によっては記載した内容と異なる性能・性質を示すことがあります。

# AA-TEC工法

AsunaroAoki-Tokiwa Earthquake proofing Ceiling

平成25年国土交通省公示第771号による構造方法に適合する  
水平震度2.2Gに対応する耐震天井





震災から復興を目指す「現場の声」から生まれた天井耐震化システム

# AA-TEC工法

2011年の東日本大震災において天井脱落により人的被害が発生したことにより、国土交通省は平成25年告示第771号で震度6の大地震に耐える、水平震度2.2Gを基準にした特定天井の構造方法を明確化しました。

当社は吊り天井の鉄骨下地部材を角パイプに変更し、吊り金具や固定金物の取付方法にも構造上有利になるような工夫をほどこし水平許容耐力9,000Nを実現しました。

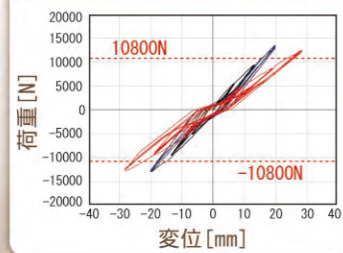
## 性能

当社技術研究所にて一方向加力と静的繰返し試験を実施し天井ユニットの水平許容耐力9,000Nを確認しました。

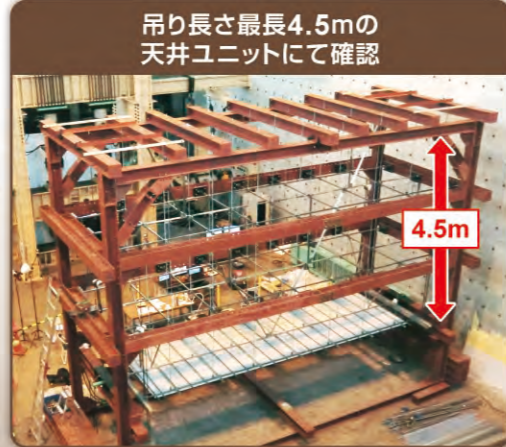
吊り長さ1.2m地震時加振実験動画



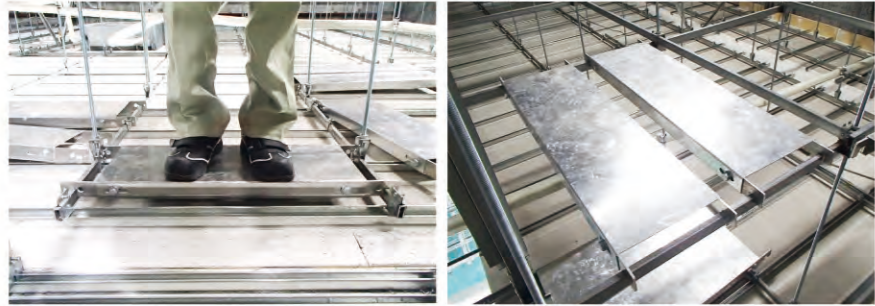
吊り長さ4.5m実験結果



吊り長さ最長4.5mの天井ユニットにて確認

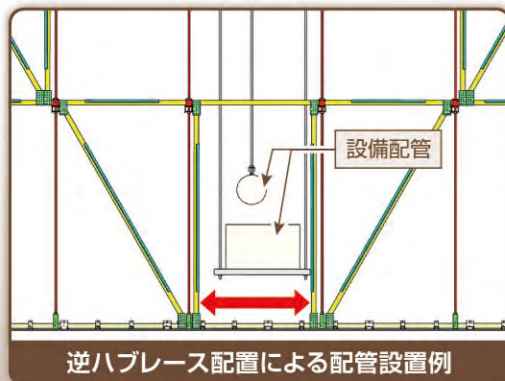


点検通路の設置が省略、天井内点検やメンテナンスが容易となります。



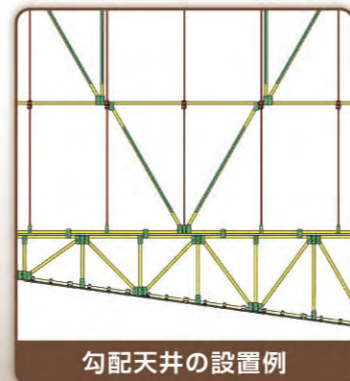
天井内専用足場板

## 多様な設置例



ブレース材の数を少なくすることで天井裏の設備配管が容易になります。

吊りボルト補強材でV字型に配置のブレース材に間隔をとることができ、ブレース設置箇所にも設備配管が設置可能になりました。



**水平許容耐力  
9,000N**

1ユニット(ブレース1組)が受け持つ  
水平耐力は国内最大級の  
9,000Nを実現しました。

## 高い信頼性

最大水平震度2.2Gに対応する耐震天井工法として、建築技術の性能を第三者の立場で審査し認定する「建築技術性能証明」を取得しています。

## 多様性

構造種別(RC・S・SRC)に関わらず、新築・改修に対応できる多様な仕様を用意しました。

